



1. 目次

序章 新品種による食農連携を実現する方法

第Ⅰ部 総論編

第1章 ニーズに基づく研究開発の必要性

第2章 効果的な実需者ニーズの把握方法～フォーカス・グループインタビューとTN法，アンケートの活用～

第3章 価値共創を実現するコンソーシアムの創り方～九州黒大豆プラットフォームをモデルに～

第Ⅱ部 品種事例編

第4章 水稻（加工・飼料用）「ミズホチカラ」－瑞穂の国の多用途米－

第5章 水稻（酒造用）「吟のさと」－地元の米で吟醸酒を－暖地向き酒造好適米－

第6章 水稻「にこまる」－暑い九州でもしっかり実る新しいブランド米－

第7章 水稻「きぬむすめ」－西日本の広域に適する良食味米－

第8章 小麦（ちゃんぼんめん用）「長崎W2号」－麺通もうならせる長崎県産小麦－

第9章 大豆「クロダマル」－九州のたんぼに生まれた極大粒大豆－

第10章 サツマイモ「べにはるか」－しっとりやわらか，甘くておいしいサツマイモ－

第11章 紫サツマイモ「アヤムラサキ」－世界初！食卓を彩る紫サツマイモ－

第12章 ソバ「春のいぶき」－夏に国産新ソバを食する－

第13章 ハトムギ「あきしずく」－富山で開花した，九州生まれのハトムギー

第14章 サトウキビ「黒海道（くるかいどう）」－本土での製糖再生を可能にする極早生種－

第Ⅲ部 品種開発と普及の実践－これまでとこれから－

第15章 機能成分高含有農作物の開発と消費者の期待

第16章 九州沖縄農業研究センターで行っている「所長キャラバン」と品種の普及について

寄稿1 サツマイモのブリーダーになった幸せ

寄稿2 生き方としての作物育種

寄稿3 「健康でいたい」の国民ニーズに応えられたことで紫サツマイモブームは起こった

2. 発行 農林統計協会

3. 定価 2,700円（税別）